

くらしの足をみんなで考える全国フォーラムが開催されました。  
(国土交通省 公共交通政策部 交通計画課)

平成 28 年 10 月 29・30 日(土・日)に東洋大学白山キャンパスにて、「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」が、東洋大学・岡村教授を実行委員長、名古屋大学・加藤准教授を副実行委員長として開催されました。本フォーラムは、くらしの足の問題 解決に取り組む「実践」の流れを大きくしていくために何をすべきかについて、住民・NPO・交通事業者・自治体・国・研究者など様々な関係者が集まって、情報交換や議論を行う「場」として、2012 年から毎年開催されており、今年で 5 回目となります。

国土交通省からは、松本公共交通政策部長が挨拶に立ち、くらしの足の確保に関する地方公共団体のリーダーシップへの期待や、国土交通省としてこうした取組を支援していきたい考えについて言及しました。またポスターセッションでは、くらしの足を確保するための地域公共交通ネットワーク形成のポイントや、先進的な取組事例について広く説明しました。



## 地域公共交通ネットワークの形成

国土交通省 総合政策局 公共交通政策部

地域公共交通ネットワークは自治体、交通事業者、住民の皆さんが  
**みんなで**形作るものです。

↓

まずは地域の公共交通のビジョンとなる計画  
「地域公共交通網形成計画」を作成しましょう！

**より良い地域の公共交通のビジョンを作るためのポイント**

- 現状・問題点を知り、データで裏付けを取りましょう！  
(例：お客さんはどこで乗ってどこで降りているか？など)
- 個別の地区や事業ごとに考えるのではなく、**地域全体の公共交通ネットワーク**を考えましょう！
- \* 利用者の移動範囲が隣接自治体にまたがる時は隣接自治体と一緒に考えましょう！
- \* 鉄道・バスなど交通モードの連携・分担を考えましょう！

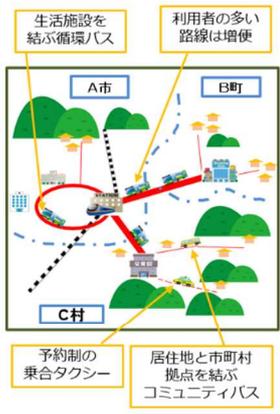


バスとLRTとのスムーズな乗換環境

- まちづくりや観光戦略と連携しましょう！



観光地を巡る循環バス



**ご質問・ご相談は  
地方運輸局まで  
お気軽にどうぞ！**

北海道運輸局	交通政策部交通企画課	011-290-2721
東北運輸局	交通政策部交通企画課	022-791-7507
関東運輸局	交通政策部交通企画課	045-211-7209
北陸信越運輸局	交通政策部交通企画課	025-285-9151
中部運輸局	交通政策部交通企画課	052-952-8006
近畿運輸局	交通政策部交通企画課	06-6949-6409
中国運輸局	交通政策部交通企画課	082-228-3495
四国運輸局	交通政策部交通企画課	087-835-6356
九州運輸局	交通政策部交通企画課	092-472-2315
沖縄総合事務局	運輸部企画室	098-866-1812

地域公共交通ネットワークの形成（本省）

# 北海道における「ひと・もの」協働輸送プロジェクト

— 路線バスによる旅客・貨物の同時輸送 —

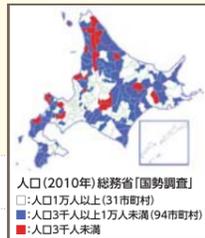


春名 史久・佐々木 求・新堂 聡史(北海道運輸局交通政策部)、野村 文吾(十勝バス株式会社)、南原 真一(名士バス株式会社)、千葉 繁夫(士別軌道株式会社)、渋谷 高志・那須 大介(ヤマト運輸株式会社)、吉田 隆亮・大井 元輝(一般社団法人北海道開発技術センター)

## 背景

### 交通ネットワークの状況

- 1 他の都府県と比較して地域公共交通網の維持が困難。交通地域不便地域の発生しやすい状況
  - ▶ 北海道は人口密度全国47位(全国平均の1/5)、過疎地域指定自治体の割合が約80%(149/179市町村)
- 2 他の都府県と比較して交通網が維持されなくては生活に必要な必要最低限な外出も担保されない状況
  - ▶ 面積当たりの病院数全国44位、面積当たりの学校数全国47位(中学校、高校共に)
- 3 乗り合いバス輸送人員は減少
  - ▶ 運行の効率化が急務



### 物流ネットワークの状況

- 1 広域分散型社会
  - ▶ 人口密度は全国平均の約1/5。北海道の面積>九州+四国
- 2 都市間距離が長大 例)札幌市~釧路市約320km
  - ▶ 東京~仙台間約370km、東京~名古屋約350kmと匹敵
- 3 人口密度の希薄な地域では高品質なサービス提供は困難
  - ▶ 全国一律のサービスは、配送効率から難しい。
- 4 ドライバーの減少
  - ▶ 人手不足が顕在化。過疎地域の輸送維持は経営上の課題
- 5 物流サービスは社会インフラ
  - ▶ 無ければ、過疎地域の経済活動に支障をきたす。

## 目的

### 貨客混載の必要性

- ・北海道では交通ネットワークと物流ネットワークの効率化が必要
- ・過疎地では潜在需要も限られている
  - …荷物1個の貨物輸送に対する運賃は低廉
- ・バス事業者、物流事業者とも費用削減努力も限界

### 国が実証実験

- ・貨物運賃による収入の増加について実測したデータにより、バス事業者、物流事業者における導入メリット等を提供
- ▶ 各地での取組にあたっての事業者の不安解消、導入促進へ

- ・バス事業者、物流事業者の収支効率向上
- ・トラックドライバー不足の緩和にも効果
- ・CO2削減などの環境保全効果

## 概要

▶ 午後便荷物を積載するため地方営業所へ戻る仕業が無い、運行の効率化及びサービス向上へ。

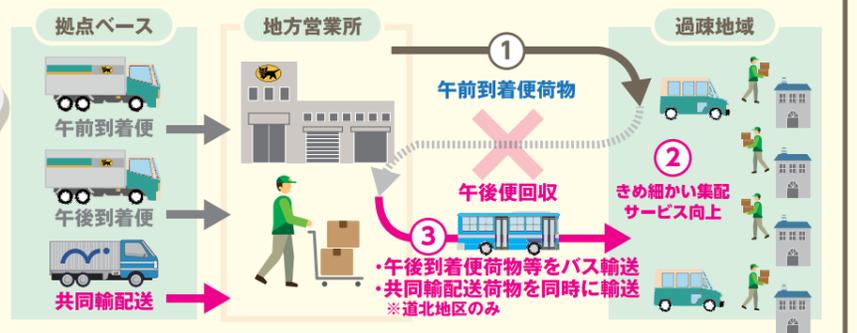
### 実験前

- ① 地方営業所から、午前便荷物を積載し過疎地域へ集配
- ② 午後到着便を回収するため、過疎地域から、地方営業所へ戻る
- ③ 午後便荷物を地方営業所で積載し、再び過疎地域へ戻り集配



### 実験中

- ① 地方営業所から、午前便荷物を積載し過疎地域へ集配
- ② 午後到着便の回収が無いので、そのまま過疎地域で集配(サービス向上)
- ③ 午後便荷物をバスが過疎地域へ輸送 → 過疎地域の路線バス車庫で集配車に引渡し(効率化)



### 実証実験の概要

路線バスの車両は無改造!

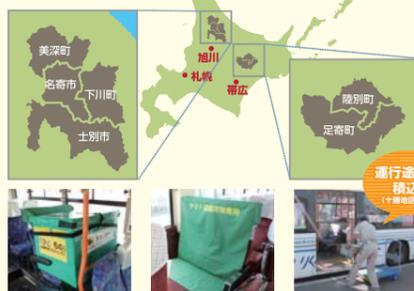
#### ●道北地区

- 【期間】平成28年7月22日(金)~平成28年8月21日(日)
- 【地域】士別市・名寄市・下川町・美深町
- 【内容】宅配貨物輸送の実証実験(共同輸配送含む)、効果測定等・実験結果の取りまとめ
- 【関係者】士別軌道(株)・名士バス(株)・ヤマト運輸(株)・札幌通運(株)・士別市・名寄市・下川町・美深町

#### ●十勝地区

- 【期間】平成28年8月4日(木)~平成28年9月3日(土)
- 【地域】足寄町・陸別町
- 【内容】宅配貨物輸送の実証実験、効果測定等・実験結果の取りまとめ
- 【関係者】十勝バス(株)・ヤマト運輸(株)・足寄町・陸別町

本格実施として継続!



## 期待される効果

### <住民サービスの維持・向上>

- ▶ 旅客・物流サービスの維持
- ▶ 今後の新たなサービス(買物支援、住民見守り等)への展開

### <地域経済の活性化>

- ▶ 農産物(トウモロコシ、アスパラ等)の首都圏等への航空便輸送実現
- ▶ 今後、買物支援サービス等が導入された場合における地域消費の拡大

### <交通サービスの維持等>

- ▶ 地域の物流サービス、公共交通サービスの維持
- ▶ CO2削減

## 今後の展開

- 貨客混載輸送導入にあたっての物流事業者、バス事業者の不安を解消し、全道各地への普及・展開を目指すべく、シンポジウムを開催(平成29年2月3日札幌市内にて開催予定)

【お問合せ】

国土交通省 北海道運輸局交通政策部 佐々木 求 e-mail:sasaki-m52hr@mlit.go.jp Tel:011-290-2726

北海道運輸局作成ポスター